

(農)宮守川上流生産組合の取組み①：集落営農

典型的な中山間地域
組合員数 183戸(地域内全農家)
農地約100ha

- ・国の基盤整備事業により農地を大区画化(平成6年)
大型機械の導入
- ・委託農地約50haでの営農活動(米、大豆)
- ・水稻作業受託
- ・オペレータ(担い手)の雇用・育成

農地の保全
地域を守る



宮守川上流生産組合の取組み②：経営の多角化

- 高齢者が働く場となるようブルーベリー園やわらび園を整備（部会制、独立採算）
- 農産物直売所を開設、地域農産物の直接販売
- 組合直営でハウストマト栽培（品種：アイコ）



宮守川上流生産組合の取組み③：自立した農業経営

主食米から飼料米、酒米へ切り替え
直播栽培の技術習得



無人ヘリ
最新技術の講習



冬季は林業に従事
担い手の生活を支える働く
期間の拡大



高齢者、女性全員の力を合わせて、
元気な地域を作る

宮守川上流生産組合の取組み③：

自立した農業経営 = 農産物加工場の導入

(平成22年10月から稼働)

地域農産物を活かす

米、大豆、トマト、ブルーベリーを、
どぶろく、豆腐、ジュースやジャムに加工・販売
(営業許可：清涼飲料水、ビン詰缶詰、惣菜)

働く場を創る

地域内雇用を中心に

正職員3名、パート職員9名 (うち女性10名)



地域農業の振興

広域の農業者の加工作業受託 (ジュース、ジャム)



農産物加工場の取組み①：実績

実績経過

	24年度実績		26年度実績	
	売上 (千円)	製造本数 (千本)	売上 (千円)	製造本数 (千本)
受託加工	13,463	62	15,549	81
自社製品 (どぶろく)	14,639	20	22,321	41
自社製品 (ジュース等)	11,509	50	16,968	48
合　　計	39,661	132	54,838	170

農産物加工場の取組み②： 製造編

原料生産から加工まで一貫した製造ができる＝特徴・強み

ものづくり、ブランド力をアピール

→ あくまで地元産農産物にこだわり、
食と農をつなぐブランドイメージ作り



商品ラインナップの充実

同製品、異種の製造によりシリーズ化、
お使い物としての利用

小ロット、多品目の加工作業受託

他の加工場では対応しづらいことをあえて取り組む
加工相談

希少性のある商品「どぶろく」を生かす

遠野はどぶろく特区全国1号

酒蔵での従事経験のある地域住民の技術を生かす
新商品「カシスどぶろく」への取組み

パート職員のやる気の向上

パート職員から責任ある立場へ 昇給あり

農産物加工場の取組み③： 販売編

地域の皆さんから長く愛される商品づくり

試飲販売会を積極的に開催

販売先は小売店への卸販売を重視
試飲販売会を販売先へ提案

ネット販売開始

お客様の声に応えたネット販売

正職員を地域外雇用

異業種での経験を地域振興に活かす



「雨ニモ負ケズ本舗」サイト内にページを開設
<http://amenimomakezuhonpo.com/ippins/miyamori>

農地の保全
地域を守る



地域資源を活用し
地域内生産、
地域内販売



地域を守る
地域を元気に